

「福島県の妊産婦の皆様の健康を見守ります」

妊産婦に関する調査は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故以降の福島県の妊産婦の皆様のところやからだの健康状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供することを目的に開始されました。

【対象者】

毎年度、県内で母子健康手帳を交付された方、調査期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で里帰り分娩をされた方。

調査年度	対象者	ご回答数
平成23年度	1万6001人	9316人 (58.2%)
平成24年度	1万4516人	7181人 (49.5%)
平成25年度	1万5218人	7260人 (47.7%)
平成26年度	1万5125人	7132人 (47.2%)
平成27年度	1万4572人	7031人 (48.3%)
平成28年度	1万4154人	7326人 (51.8%)
平成29年度*	1万3551人	6200人 (45.8%)

出産約4年後に フォローアップ調査を実施		
対象者	ご回答数	
7252人	2554人	(35.2%)
5602人	2021人	(36.1%)
5734人	2695人	(47.0%)

※暫定値 (平成30年6月30日現在)

【調査方法】

対象となる妊産婦の方へ調査票をお送りし、回答いただきます。

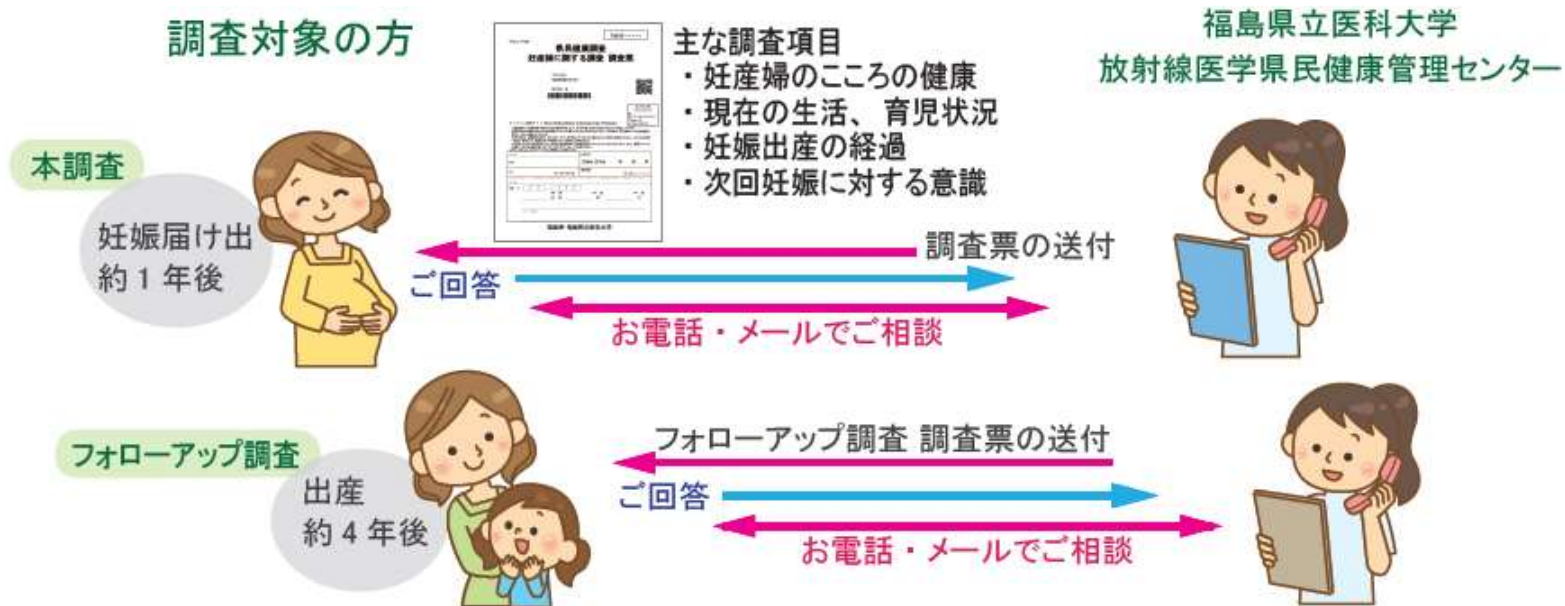
(平成28年度調査より、回答は郵送またはオンラインで受付)

主な調査項目は、次のとおりです。

- ・妊産婦のこころの健康度
- ・現在の生活状況 (避難生活、家族離散の状況)
- ・出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- ・育児の自信
- ・次回妊娠に対する意識

福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト、第32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【調査の流れ】



●平成30年度の本調査対象者

- ①平成29年8月1日から平成30年7月31日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

●平成30年度のフォローアップ調査対象者

平成26年度調査に回答いただいた方で、平成25年8月1日から平成27年4月23日に出産された方
→妊産婦調査では、平成28年度調査からオンライン回答を始めています。

放射線医学県民健康管理センターウェブサイトから、パソコンやスマートフォンで回答ができます。

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

調査年度	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合	調査年度	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合
平成23年度	1,401人	15.0%	平成23年度フォローアップ調査	375人	14.7%
平成24年度	1,104人	15.4%	平成24年度フォローアップ調査	256人	12.7%
平成25年度	1,101人	15.2%	平成25年度フォローアップ調査※	391人	14.5%
平成26年度	830人	11.6%			
平成27年度	913人	13.0%			
平成28年度	951人	13.0%			

※暫定値（平成30年6月30日現在）

【電話による相談内容】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度～平成 29 年度※ (同じ順位でした)	平成 23 年度の フォローアップ	平成 24 年度の フォローアップ	平成 25 年度の フォローアップ
1位	放射線の 心配や影響	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	子育て関連
2位	母親のこころや 身体の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	放射線の 心配や影響	子育て関連	母親のこころや 身体の健康
3位	子育て関連	放射線の 心配や影響	子どものこころや 身体の健康	家庭生活に関すること	子育て関連	子どものこころや 身体の健康	放射線の 心配や影響

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

第30、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【早産率、低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率】

早産率、低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率は全国調査の値や一般的な水準と変わりませんでした。

(%)

	早産率		低出生体重児率		先天奇形・先天異常発生率	
	本調査	全国調査	本調査	全国調査	本調査	一般的な水準
平成 23 年度	4.8	5.7	8.9	9.6	2.85	
平成 24 年度	5.7	5.7	9.6	9.6	2.39	
平成 25 年度	5.4	5.8	9.9	9.6	2.35	3 ~ 5
平成 26 年度	5.4	5.7	10.1	9.5	2.30	(2014 産科診療 ガイドラインより)
平成 27 年度	5.8	5.6	9.8	9.5	2.24	
平成 28 年度	5.4	5.6	9.5	9.4	2.55	
平成 29 年度 [※]	5.2	—	8.9	—	2.47	

全国調査：人口動態統計における年単位の割合

※暫定値（平成30年6月30日現在）

早産：妊娠 22 週から 37 週未満で生まれた赤ちゃん
低出生体重児：2500g よりも小さく生まれた赤ちゃん

【妊産婦のうつ傾向の推移】

「気分が沈みがち」「物事に興味がわかない」という設問に、両方あるいはいずれかに当てはまると回答された方の割合



妊産婦さんのうつ傾向は徐々に減ってきています



【“次回の妊娠・出産をお考えですか？” の設問に「はい」と答えた方の推移】

全国調査	本調査					
平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度※
51.0%	52.9%	52.8%	57.1%	53.3%	54.6%	52.5%

全国調査:「平成22年第14回出生動向基本調査」結婚10年未満で子どもを予定している割合(既に子どもがいる場合)

※平成23年度調査は 設問項目なし

※暫定値 (平成30年6月30日現在)

第32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成